阿南市行財政改革懇話会　質問票

委員名　木岡　圭市

＜「新行財政改革推進プラン　2025-2028 」＞

質問箇所	Ⅱ新改革プランの基本的事項　⑹数値目標
質問内容	①組織・人員体制の最適化 「人口減少時代を見据えた職員数」 ・数値目標が達成されたので、新たな目標値を設定すべき。 「附属資料」の「県内 8 市の平均値との比較」でも、「人口 1 万人当たりの正規職員数」「人件費比率」とも、高くなっている。 ・数値目標は「正規職員数」となっているが、「再任用職員」は定数内職員であり、トータルで管理すべきと考える。 ②財政健全化 「当初予算編成における財政調整基金の取崩し額」 ・予算計上額では、市の基金債券購入問題への「危機感」「覚悟」が伝わりにくい。 ・「10 億円」という目標値は、決算推移からみてもインパクトに乏しく、例えば「5 億円未満」という数値を、「決算における財政調整基金の取崩し額の目指すべき数値」として、付記するのはどうか。 「実質公債費比率」 ・「10%」という目標値は、決算推移からみても理解が難しい。 目標値が、過去の数値の 2 倍になっていることについて、 分かりやすい注釈が必要。 ・「附属資料」の「県内 8 市の平均値との比較」でも、高くなっている。 ③公共施設マネジメント ・人口減少が加速する中、10 年前に策定された「公共施設等総合管理計画」をベースとする目標値は、説得力に欠ける。 ・計画の改訂作業と併せ、数値目標の見直しも実施すべき。

＜「新行財政改革推進プラン　2025-2028 」＞

質問箇所	Ⅲ新改革プランの内容 ⑵推進体制
質問内容	「市行財政改革プロジェクトチーム」 ①＜新改革プラン重点 75 項目進捗管理表＞について、「関連する事業」について、明示してほしい。, ②庁内の政策形成能力の底上げに向け、さらなる進化を目指してほしい。 ・今年度の中心的なテーマは、何か。 ・メンバーの拡大も 南部圏域（1 市 4 町）若手職員による合同チームの立ち上げ ・テーマの拡大も 南部圏域に共通する課題（JR 牟岐線の活用策　など）

質問箇所	附属資料　B:一般会計決算の推移
質問内容	「一般会計「歳入決算」及び「歳出決算（性質別)」の推移」 ・令和 7 年度の数値（見込み）について、示してほしい。

質問箇所	附属資料　C:財政の健全化
質問内容	「C-1 財政調整基金と財政標準規模」 ・→「標準財政規模」に訂正 ・「財政調整的基金残高の推移」について、令和 7 年度の数値（見込み）を示してほしい。 「C-2 地方債年度末現在高等」 ・「地方債発行額の推移」「地方債年度末現在高の推移（一般会計)」について、令和 7 年度の数値（見込み）を示してほしい。

＜「新行財政改革推進プラン　2025-2028 」＞

質問箇所	その他　新改革プランの公表に関して
質問内容	・「重点項目」の数が多く、何を伝えたいのか、分かりにくい。 広報誌に特集記事を掲載し、「数値目標」や「最重点施策」 など、伝えたいことを分かりやすく示してほしい。 ・「特集記事」のイメージ 「前プラン」では、「プランの策定」の他、1 年後に、「進捗状況」について、4 回にわたり特集記事を掲載。

質問箇所	その他　基金運用に関する債券過剰購入問題に関して
質問内容	○庁内の危機意識が薄れてきていると感じる。 ・「決算審査監査委員報告」「市長所信」など、節目においても 触れられることがなく、マスコミ報道もなくなってきている。 ・定期預金、普通預金ともに金利上昇傾向が続いており、債券の 表面金利を上回る状況が生じている。 「現実に損害が生じている」との、さらなる危機意識をもって、 この問題に対処してもらいたい。 ○「新改革プラン」は、これまでになかった「債券問題」を受け 策定されていると理解しており、経緯、内容、対応等について、 プランに明記してほしい。 ・記載箇所は、「Ⅱ新改革プランの基本的事項」の最後に、 「⑻基金運用に関する債券過剰購入問題」として。 ・記載内容は、 経緯、購入債券の内容、課題等 第 3 者委員会からの報告及び当面の対応 最新の状況（基金の状況、評価損額等） ・「附属資料」として、基金総額（財政調整的基金、その他）の 推移及び、有価証券の状況　などを加えてほしい。

＜新改革プラン重点 75 項目進捗管理表＞

質問箇所	1　組織のスマート化・フラット化（人事課・企画政策課）
質問内容	・「附属資料」に、新たに「●部課係の推移」が加えられたが、他の指標と同じように 5 年程度の数値はほしい。 ・「課」について変更はないが、総数の中で、統廃合は適宜実施してきているのか。 なお、「室長兼務の課長」が増えてきているが、その理由。 ・「部」についても変更はないが、現在の部の体制はいつからか。 なお、「人事」「財政」が別の部となっているが、その理由。

質問箇所	24　使用料・手数料の適正化（財政課）
質問内容	・「昨年度より、一定の条件を付与した見直し案を試算し、担当部局へ提供」とあるが、具体的な内容は。 ・8 年度予算への反映は、どうだったのか。

質問箇所	29　事務事業の定期的な見直し（企画政策課）
質問内容	・「夏季政策会議」を実施予定とあるが、いつ頃、どのようなメンバーで行うのか。 ・どのような方針で行うのか。 ・予算編成作業における、財政サイドとの連携は。 ・「事業の成果は何か」を常に意識して、取り組んでほしい。 （意識改革は、「成果指標」を考えることから始まる） ・「新規事業」は、「成果指標」「終期」の設定を義務づけることからはじめてほしい。

＜新改革プラン重点 75 項目進捗管理表＞

質問箇所	41　人口規模に応じた公共施設の再編・最適化（公共建築課）
質問内容	・「阿南市公共施設等総合管理計画及び阿南市建物系公共施設個別施設計画の改訂」とあるが、どのような方針、手順で行っているのか。 ・キーワードとなる「施設の複合化」を強力に進めるためには、早い段階で、対象施設を特定する作業が不可欠。 計画の改訂作業と併せて、進めてもらいたい。

質問箇所	41　人口規模に応じた公共施設の再編・最適化（こども保育課）
質問内容	・「市全域を対象に、公立幼稚園、保育所及び認定こども園の 23 施設を 6 施設の認定こども園へ集約」とあるが、人口減少が加速する中、民間事業者の経営リスクは、これまで以上に高まっている。 ・保育事業は、本来、公共対応であり、民間が事業中止した場合に備え、公共によるバックアップ体制の整備を併せて検討しておいてほしい。

質問箇所	47　体育館への空調設備の導入（教育総務課）
質問内容	・「小学校屋内運動場空調整備」については、近年の異常な暑さはもとより、災害時のの避難所としての活用が期待されている。 ・現在の空調整備状況について教えて欲しい。（中学校も含めて） ・これまでの実績と、今後の年次計画はどうなっているのか。